

夜間、見えないものが見える場合の対応

部屋を明るくする	<input type="checkbox"/> 部屋の照明をつけて明るくしてみる POINT! 夜間照明をつけると、目が覚めてしまう場合もありますが、不安や興奮が強い時は、一度部屋を明るくしてみることで落ち着けることがあります。
洋服の場所を変える	<input type="checkbox"/> 部屋にかけているコートなどが人に見えている場合は本人からは見えない別の場所にかける POINT! ないものが見えるだけでなく、見間違（錯視）の場合もあります。何かを見間違っているようなら、それを見えなくします。
少し話をする	<input type="checkbox"/> リビングなど落ち着ける場所に移動し、落ち着くまで少し話をする POINT! 夜間のやりとりはお互いに負担に感じる場合もあると思いますが、もしできそうであれば、少し話すことで落ち着くことがあります。
水を飲んだり、甘いものを食べてみる	<input type="checkbox"/> ホットミルク・ホットココアを飲んでみる <input type="checkbox"/> 水を飲んでみる POINT! 甘いものをとると落ち着く人がいます。コーヒーやお茶は目が覚めるので飲まないようにします。



～こんなこともありました（介護職員からの情報提供）～

夜中に「火の玉が見える」と言って怖がっている認知症の人がいました。いろいろ様子をお尋ねすると、夜中暴走しているバイクの音で目覚めて、窓から見えるバイクのライトが火の玉に見えるようでした。遮光カーテンをするようになってから、「火の玉が見える」という訴えはなくなりました。

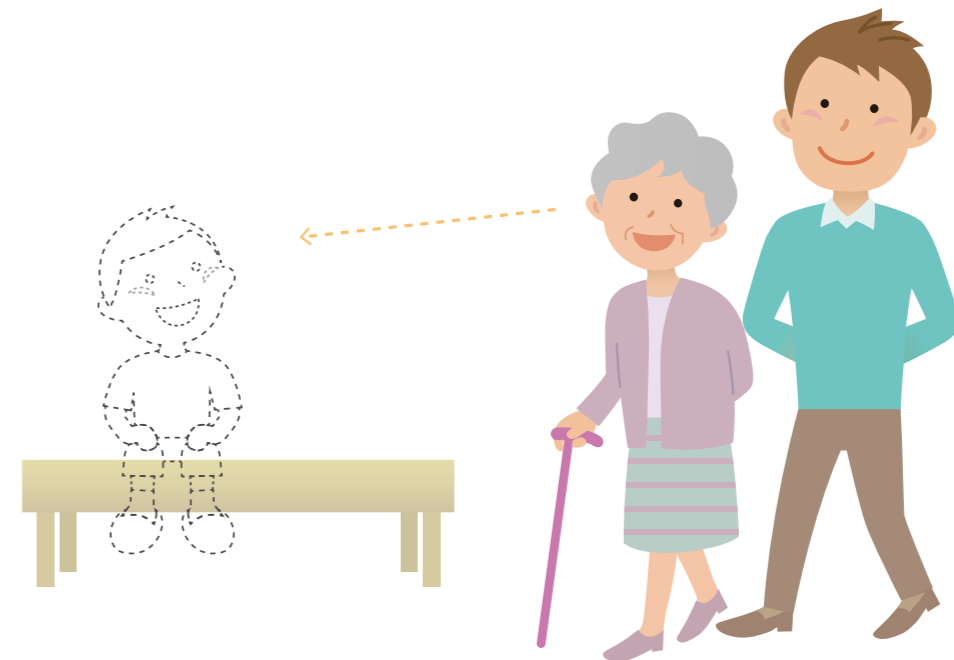
本冊子は、国立研究法人「医療研究開発機構（AMED）」の認知症開発研究費「血液バイオマーカーと神経画像検査による BPSD の生物学的基盤の解明、および認知症者の層別化に基づいた BPSD ケア・介入手法の開発研究」の分担研究「BPSD ケアレジ研究と J-BIRD-PNB における非生物学的収集項目決定と質管理」の成果物として作成しました。

本冊子の作成にあたっては、認知症介護研究・研修仙台センター開発「初めての認知症介護」の構成を参考にしました。

発行：認知症介護研究・研修東京センター

笑顔で過ごしたい

認知症の人と家族のための暮らし方のヒント



山折り

⑨ ないものが見える時には？



こんな場面ありませんか？

- ・ いないのに子どもがいるようにみえる
- ・ いないのに動物（犬や虫など）が見える

この冊子では、現場での実践や支援の知を参考に認知症の人と家族がともに暮らすときのヒントをまとめています。

■ 順番に読む必要はありません。気になるところから使えます。

■ すべてを行う必要はありません。合うものだけ選べます。

■ うまくいかないときは、やり方を変えても大丈夫です

Q. どうして見えないものが見えることがあるの？



A1. 認知症の進行で脳の視覚をつかさどる部分で ある〈後頭葉〉の血流が低下するため

見えないものが見えることを「幻視」といいます。またハンガーにかけてある服が人に見えるなど、見間違ふ症状を「錯視（さくし）」といいます。

レビー小体型認知症では、視覚を司る後頭葉の血流が低下し、これにより幻視が生じることが指摘されています。アルツハイマー型認知症でも、進行すると同じく後頭葉にも萎縮が及び、同様の症状が生じる場合があります。

試してみたいこと

レビー小体型認知症の場合、記憶障害が認められないこともあります。その場合は、幻視が見えることを本人があらかじめ知っておけば、医師から説明しておいてもらえば、自分で対処でき場合があります。

部屋が暗かったり、覚醒レベルが下がっていると幻視や錯視（見間違い）が起こりやすくなります。夜間でなければ照明をつけ、明るくしたり、目が覚めるように働きかければ改善します。

幻視が本人に不安や不快を与えていないようであれば、必ずしも対応する必要はないかもしれません。

幻視が不安につながっているようであれば、幻視を触って、見えなくなったり、場所を変えて話したりして、落ち着けるようにします。

ワンポイント

・夜間せん妄に注意する
夜中に見えないものが見えて、本人が大騒ぎするといった場合は、夜間せん妄の可能性がります。適切に対処すれば軽減しますので、介護支援専門員（ケアマネ）などの専門職にすぐに相談しましょう。

おすすめしない伝え方



■「そんな人いないよ！」などと、強い口調で頭ごなしに否定する
幻視であるという事実を伝えることは、本人に幻視だと気づいてもらうことができるため、自己対処してもらう機会にもなります。しかし、幻視だと伝える時の口調が強くなると、認知症の人でも幻視が見えていることを受け止めにくなくなったりします。事実を伝える場合は、やさしい口調で伝えるようにするといいでしょう。

試してみたいこと

見えないものが見える場合

幻視が見えていると説明する	<input type="checkbox"/> 私には見えないよ、体の調子で見える時があるみたいね、と伝えてみる <input type="checkbox"/> 「〇〇が見えているんだね」と幻視が見えているのを認める <p>POINT! 幻視を自覚している人向けです。レビー小体型認知症など軽度の認知症で記憶障害が強くない方は、幻視について説明すると本人が自ら対処できる場合があります。</p>
場所を移動する	<input type="checkbox"/> 隣の部屋に移動する。 <input type="checkbox"/> 私がやっつけるから、私がついているから大丈夫よ。などと声をかけ場所を移動する。 <p>POINT! 落ち着ける場所を本人と選びます。</p>
見えているものを触ってみる	<input type="checkbox"/> 何が見えているかを尋ね、怖くない場合は触るよう促す <p>POINT! 本人と家族と一緒に確かめると安心につながりやすいことがあります。</p>

谷折り

